

ちょうちょうさん バイバ〜イ



にじぐみ

5月31日(火)

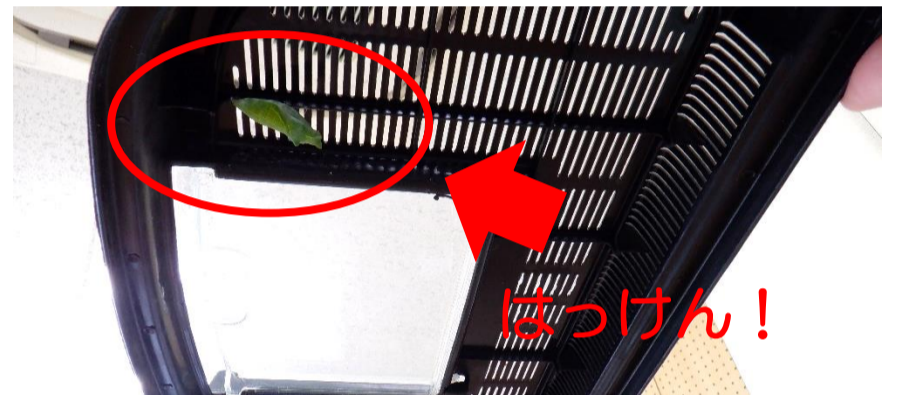


5月中旬に不動先生のお家の柚子の木に蝶々の卵があると聞き、にじ組で飼育することになりました。図鑑や絵本で調べてみると、黒いうんちだと思っていたのが、幼虫の最初の姿で、脱皮を繰り返してアオムシなることが分かりました。毎日登園すると「大きくなって！」と飼育ケースの中を覗き、初めは気持ち悪がっていた子も、「かわいい〜。」と言いながら観察していました。

ある日、「アオムシがいなくなってる！」と気づいた子がおり、探してみると…飼育ケースの蓋の裏にサナギを見つけました。調べて知っている子が「サナギになったら、触ったらダメなんやよ！ちょうちょうになれなくなるんやよ。」とお友だちに教えてあげていました。



葉っぱいっぱい食べるね



はっけん！

そして今日。朝登園すると蝶々になっていました。飼育ケースの中で羽を広げている蝶々をじっくりと観察していました。



『蝶々をこのまま育てたい』という子がいたので、どうするかみんなで話し合いました。

- ・家族に会いたいと思うから、逃がしてあげたい
- ・自由に空を飛べると、幸せだと思う
- ・クモやカマキリに食べられてしまうかもしれないから、このまま育てたい
- ・仲間の蝶々を捕まえて一緒に育てると寂しくないと思う

などいろいろな意見が出ました。蝶々の気持ちになり、子どもたちらしい意見がたくさん出ました。そしてみんなで話し合い、不動先生のお家の柚子の木の近くで逃がすことに決めました。毎日観察していたので逃がすのがさびしそうな子もいましたが、飛んでいく蝶々を見て「バイバ〜イ。」と手を振っていました。

蝶々を育てるなかで、不思議に感じたことを図鑑で調べるだけでなく、知っていることをお友だちと伝え合ったり、蝶々の気持ちになって考えたりといろいろな経験ができました。



バイバ〜イ